

平成 31 年 1 月 17 日

名古屋教育医療記者会 各位

名古屋市立大学大学院人間文化研究科
准教授 谷口由希子 052 (872)3473

(名古屋市記者クラブと同時発表)

「名市大生による『名古屋市子どもに関する総合計画』への 提案と意見交換会」に関するご案内

名古屋市立大学では、1 年次の教養教育科目として、学生が実際に地域の人々と触れ合いながら地域課題を発見し、解決策の議論を通じて理解を深める「地域連携参加型学習」を設置しています。

このたび、名古屋市立大学の学生が、名古屋市の子どもを取り巻く諸課題について、フィールドワークを通して学び、課題と解決策について考察した結果を発表し、名古屋市職員への事業提案と意見交換を実施いたします。

つきましては、当日ご取材くださいますよう、お願い申し上げます。

記

- 1 日時 平成 31 年 1 月 21 日 (月) 16:00~16:45
- 2 場所 名古屋市役所東庁舎 1 階 第 12 会議室
- 3 参加予定 谷口由希子准教授、教養教育科目「地域連携参加型学習」谷口班 (1 年生) 11 名
子ども青少年局長、子ども未来企画監、企画経理課長 他
- 4 内容 名市大生がフィールドワークで学んだ結果および施策への提案を発表し、意見交換を行う。

<当日のスケジュール>

- | | |
|-------------|---------|
| 16:00~16:04 | 開会、自己紹介 |
| 16:04~16:25 | 名市大生の発表 |
| 16:25~16:45 | 意見交換 |

<提案のポイント>

- ①居場所事業に子ども食堂の機能を加える
手作りご飯の提供、地域巡回バスを利用した送迎の工夫
- ②学習支援事業の対象を小学生まで広げる
- ③ひとり親家庭の支援コミュニティを作る
ひとり親家庭と支援をしたい人のマッチング、ホームステイ

5 事業提案に至るまでの経緯

今回発表を行う学生 11 名は、名古屋市の子育て支援施策について学んだ上で、学生グループごとに選定した、ひとり親家庭・生活困窮世帯の子どもたちへの学習支援や、ひとり親家庭の子どもの居場所づくりを行う事業者の見学を重ねるだけでなく、子どもの支援に関わる実務家へのヒアリングも行いました。

これらの事前学習とフィールドワークをもとに、名古屋市の子育て施策に関して、学生の視点から課題の整理と名古屋市への事業提案という形でまとめ、実際に、名古屋市子ども青少年局長をはじめとする施策立案・事業実施を行う行政職員と意見交換を行います。